

シネラ・ニュース
October 2023



河の女



悪魔のしるし

ダン・ニヤット・ミン & ヴィエト・リン 監督



十月になれば



メタオ



帰還



アパートメント

ベトナム映画の一人

特別企画 総合図書館収蔵のベトナム映画の特集
日・ベトナム外交関係樹立50周年記念特集

特別企画 日韓映写技師ミーティングin福岡の開催を記念して日本、韓国の映画を上映

日韓映写技師 ミーティング in 福岡



家族



ベトナム映画の二人

ダン・ニャット・ミン&ヴィエト・リン監督

■主催：福岡市総合図書館/映像ホール・シネラ実行委員会 ■協賛：九州ベトナム友好協会 ■協力：在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館/秋葉亜子/Vietnam Film Institute

4 水 13 金 20 金
14:00 11:00 14:00

五月の顔



The Faces of May
監督:ダン・ニャット・ミン

1975年/デジタル/モノクロ/ドキュメンタリー/36分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

レ・バ・ダン



Le Ba Dang - from Bich La to Paris

監督:ダン・ニャット・ミン
出演:レ・バ・ダン

2015年/デジタル/カラー/ドキュメンタリー/22分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

5 木 14 土
11:00 14:00

射程内の街



A Town within Reach

監督:ダン・ニャット・ミン
出演:ダット・ピン/クエ・ハン

1982年/35ミリ/モノクロ/79分/ベトナム/日本語字幕付き

21 土 11:00/14:30 **オンライン・トークイベント**

数々の名作を送り出したヴィエト・リン監督とダン・ニャット・ミン監督。お二人のオンライン・イベントをそれぞれ開催します。

11時から「旅まわりの一座」上映後、12時30分からヴィエト・リン監督トークイベントを開催します。

ヴィエト・リン監督

ホーチミン市生まれ。ベトナム抗米戦争後にドキュメンタリー映画の編集、脚本家としてキャリアをスタートする。79~85年、全ソ映画大学(現:全ロシア映画大学)監督科に学び、86年に劇映画を初監督。「旅まわりの一座」(88年)をはじめ、「悪魔のしるし」(92年)、「アパートメント」(98年)、「メタオ」(02年)などがベトナムおよびヨーロッパの映画祭で受賞を重ね、日本各地の映画祭でも上映された。作家としても活動し、近年は舞台の演出を手がける。



14時30分からの「きのう、平和の夢を見た」上映後、16時30分からダン・ニャット・ミン監督トークイベントを開催します。

ダン・ニャット・ミン監督

1938年、ベトナム・フエ市生まれ。ロシア映画の台本を翻訳し、1965年にドキュメンタリー映画監督、また1973年には劇映画監督としてデビューする。1985年、「十月になれば」でハワイ国際映画祭特別賞受賞。1994年、「帰還」でアジア太平洋映画祭特別賞受賞。2001年には「グアバの季節」でロッテルダム映画祭NETPAC特別賞を受賞している。1999年、日経アジア文化賞受賞。



※オンラインイベントは有料で、映画上映とセット料金です。
※イベントの動画配信はありません。

5 木 15 日 25 水
14:00 11:00 14:00

十月になれば



How I Long for October

監督:ダン・ニャット・ミン
出演:レ・ヴァン/グエン・フー・ムイ

1984年/デジタル/モノクロ/85分/ベトナム/日本語字幕付き

6 金 15 日 26 木
11:00 14:00 11:00

河の女



The Girl on the River

監督:ダン・ニャット・ミン
出演:ミン・チャウ/ハー・スエン

1987年/デジタル/カラー/94分/ベトナム/日本語字幕付き

6 金 14 土
14:00 11:00

帰還



The Return

監督:ダン・ニャット・ミン
出演:チャン・ルック/グエン・トゥー・ヒエン

1994年/35ミリ/カラー/108分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

7 土 18 水
11:00 14:00

ハノイ、1946年冬



Hanoi, Winter 1946

監督:ダン・ニャット・ミン
出演:グエン・ティエン・ホイ/クワン・ハイ

1996年/35ミリ/カラー/94分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

7 土 19 木
14:00 11:00

グアバの季節



Guava House

監督:ダン・ニャット・ミン
出演:ブイ・バイ・ピン/ラン・フォン

2000年/35ミリ/カラー/103分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

長く戦地から戻らない夫を訪問したズエンは、そこで夫の訃報を知る。彼の帰りを待つ家族を悲しませたくない一心で、彼女は夫からの手紙を偽装して生きているかのように見せかける。心優しい詩情豊かな作品。ベトナム映画界を代表する巨匠ダン・ニャット・ミン監督の代表作の1本。本作の題名には、十月は実りの時であり、今は苦しくてもぎっと実りの時が来るという意味が込められている。

ベトナム戦争中、中部の街フエの河には、南ベトナム政府の軍人を相手にする娼婦たちの舟が浮かんでいた。ある日、ニューエの舟に負傷した解放戦線のリーダーが逃げ込んでくる。傷を癒し、舟の中に匿ってもらった彼はニューエと恋に落ちるのだった。ベトナムの官僚主義を批判した作品だが、詩情溢れる映像が素晴らしい。ミン監督の代表作とされる傑作。

南部の海沿いの町で女教師をしているロアン。同僚の女教師の兄フンは、妻子を持ちながらもロアンを求めるのだった。ハノイに里帰りしたロアンは、学生時代の上級生トゥアンと親しくなっていく。ドイモイ政策により経済的には豊かになったベトナム。しかし監督は経済発展の中で忘れられつつある心の問題を、若い女教師と二人の男性を巡る恋愛の中に描き出す。

1946年。旧宗主国であるフランスはベトナムの独立を阻止するために様々な挑発を行っていた。ホー・チ・ミン主席は戦争回避のため努力するのだが、サイゴン市内では銃撃戦が始まる。戦争の始まりがフランス大使館との連絡係に任命されたラムの目を通して描かれる。ホー・チ・ミンを演じるグエン・ティエン・ホイはよく似ていることから、ベトナムでは有名。

ホアは13歳の時、家の庭のグアバの木から落ちて頭を打ち、知的発育が止まってしまう。それから30年、ホアはアパートで暮らし妹のトゥイが面倒を見ていたが、しばしばグアバの木が生えた昔の家を見に行くのだった。ダン・ニャット・ミン監督の小説「昔の家」の映画化。失ってしまった古き良きベトナムの姿がホアと共に哀惜を持って描かれる。ダン・ニャット・ミン監督らしい秀作。

総合図書館収蔵のベトナム映画の特集

会期：10月4日(水)～26日(木) ※休館日・休映日除く
 観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)
 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
 ※障がい者の方(介助者1人を含む)及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)
 ※「わたくすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)

8 日 21 土
 11:00 14:30

きのう、平和の夢を見た



Don't Burn

監督:ダン・ニャット・ミン
 出演:ミン・フーン/マシュー・コークス

2009年/35ミリ/カラー/106分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

1970年ベトナム戦争中の南ベトナム。28歳の女医トウイは野戦病院で怪我人の手当をしていた。やがて米軍は爆撃されたその野戦病院を発見し、米兵フレッドがトウイの日記を拾う。フレッドは日記をアメリカに持ち帰り、ベトナム人の妻に翻訳を頼む。この映画は実話を基にしたもので、フレッドが拾った日記は35年後にベトナムに住むトウイの母親に返還された。2009年アジアフォーカス・福岡国際映画祭福岡観客賞を受賞した感動作。

8 日 12 木 21 土
 14:00 14:00 11:00

旅まわりの一座



Traveling Circus

監督:ヴィエト・リン
 出演:デー・アイン/タイ・ガン

1988年/35ミリ/モノクロ/78分/ベトナム/日本語字幕付き

村々をめぐるサーカスの一座がある村にやって来る。村は飢餓であり、村人はかごからお米が沢山出てくる手品に夢中になるのだった。その村では金とれるという噂があり、サーカスの座長は料金として金のかげらを村人に持ってこさせる。ベトナムを代表する女性監督ヴィエト・リンによる作品。スイスのフリブル映画祭でグランプリを獲得している。

9 月・祝 13 金 22 日
 11:00 14:00 11:00

悪魔のしるし



Devil's Mark

監督:ヴィエト・リン
 出演:ゴック・ヒェップ/ドン・ズオン

1992年/35ミリ/カラー/85分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

少女は胸にアザがあるため村人から魔女と恐れられており、村はずれでハンセン病の老人と暮らしている。ある日彼女は護送中に逃げ出した画家と出会う。老人は二人で暮らしても未来はないと忠告するが、二人は山の中で暮らし始める。やがて少女は妊娠し、食べ物を探しに村に行った画家は逮捕されてしまう。先入観や迷信にとらわれた村人に疎外された者達を描いた、大人の童話のような作品。

9 月・祝 20 金 26 木
 14:00 11:00 14:00

アパートメント



Collective Flat

監督:ヴィエト・リン
 出演:マイ・タイン/ホン・アイン

1999年/35ミリ/カラー/90分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

1975年サイゴン陥落により、サイゴンのホテルが接収され、解放軍のアパートとして使用される。ホテルの門番だったタムがアパートの管理人に任命される。アパートには様々な人が入居してくる。南北統一から約10年間で管理人のタムの視点から描いた作品。移り変わるベトナム社会と人の様子が優しく描かれる。

12 木 19 木 22 日
 11:00 14:00 14:00

メタオ



There was Once a Time When...

監督:ヴィエト・リン
 出演:ズン・ニー/ミン・チャン

2002年/35ミリ/カラー/109分/ベトナム/日本語字幕付き

メタオ地方の領主グエンは、民たちからの信頼も厚く尊敬されていた。しかし婚約者を自動車事故で失って以降、近代文明の一切を拒否し、まるで人が変わったように振る舞う。20世紀初頭のフランス植民地時代を舞台に儂い愛の物語が、哀愁を帯びた音楽に乗せて描かれる。ベトナムを代表する女性監督ヴィエト・リン作品。

特別企画

日韓映写技師ミーティングin福岡

日韓映写技師ミーティングin福岡の開催を記念して日本、韓国の映画を上映

会期：10月27日(金)～29日(日)
 観覧料：600円(大人)

fiaf

500円(大学生・高校生)
 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
 ※障がい者の方(介助者1人を含む)及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)
 ※「わたくすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)

27 金 28 土 29 日
 14:00 11:00 14:00

家族



監督:山田洋次
 出演:井川比佐志、倍賞千恵子

1970年/35ミリ/カラー/107分/松竹

長崎県の小さな島を離れ、北海道の開拓村まで旅する一家の姿をオールロケーションでドキュメンタリー風に撮った異色作。公害が問題化する北九州工業地帯や万国博覧会開催中の大阪、東京の名所上野公園など、旅の風景に高度経済成長期の日本の社会状況が浮かび上がるとともに、南北に広い日本の情景の多様さをも映し出す。70年度キネマ旬報ベストテン1位。

27 金 28 土 29 日
 11:00 17:30 11:00 Ode to My Father

国際市場で逢いましょう



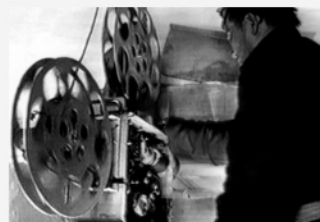
監督:ユン・ジェギョン
 出演:ファン・ジョンミン、キム・ユンジン

2014年/デジタル/カラー/127分/韓国/日本語字幕付き

朝鮮戦争で父と末の妹と離れ離れになり、母と残された2人の妹とともに避難民として釜山で育ったドクス。父親代わりとして一家を支えるため西ドイツへ出稼ぎにいき、ベトナム戦争への出兵では生死の瀬戸際に立たされるなど過酷な人生を歩むが、それでも家族への愛情と笑顔を絶やさず、時代の荒波を生き抜いていく。韓国で歴代2位の観客動員数を記録した大ヒット作。

28 土 日韓映写技師ミーティングin福岡
 14:00 シンポジウムの一環として参考上映(参加無料)

ゴビを渡るフィルム A Vanishing Trade



監督:D・ツェンドルジ・T・サラントヤー
 出演:ハラフー・ジャージャー

2001年/35ミリ/カラー/ドキュメンタリー/23分/モンゴル/日本語字幕付き

原題を直訳すれば、「消えゆく商い」となる。本作はモンゴルにおける移動映写技師の姿を追ったドキュメンタリーだが、2000年代の初め頃にはその仕事ですでに失われつつあったことがわかる。主人公の映写技師、ハラフー・ジャージャーはラクダに映写機材一式とフィルムを乗せ、遊牧民が暮らす場所まで映画を運んでゆくのだ。



1日 自主上映/福岡映画サークル協議会例会

2月 休館日

3火 休映日

4水 14:00 五月の顔、レ・パ・ダン

5木 11:00 射程内の街 14:00 十月になれば

6金 11:00 河の女 14:00 帰還

7土 11:00 ハノイ、1946年冬 14:00 グアバの季節

8日 11:00 きのうち、平和の夢を見た 14:00 旅まわりの一座

9月祝 11:00 悪魔のしるし 14:00 アpartment

10火 休館日

11水 休映日

12木 11:00 メタオ 14:00 旅まわりの一座

13金 11:00 五月の顔、レ・パ・ダン 14:00 悪魔のしるし

14土 11:00 帰還 14:00 射程内の街

15日 11:00 十月になれば 14:00 河の女

16月 休館日

17火 休映日

18水 14:00 ハノイ、1946年冬

19木 11:00 グアバの季節 14:00 メタオ

20金 11:00 アpartment 14:00 五月の顔、レ・パ・ダン

21土 11:00 旅まわりの一座 14:30 きのうち、平和の夢を見た
※上映後オンラインイベント ※上映後オンラインイベント

22日 11:00 悪魔のしるし 14:00 メタオ

23月 休館日

24火 休映日

25水 14:00 十月になれば

26木 11:00 河の女 14:00 アpartment

27金 11:00 国際市場で逢いましょう 14:00 家族

28土 11:00 家族 14:00 ゴビを渡るフィルム ※上映後シンポジウム (上映含め参加無料) 17:30 国際市場で逢いましょう

29日 11:00 国際市場で逢いましょう 14:00 家族

30月 31火 休館日

ベトナム映画の二人

ダン・ニヤット・ミン & ヴィエト・リン監督

日韓映写技師ミーティング in 福岡開催記念上映

自主上映のお知らせ

■福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「ワン・セカンド 永遠の24フレーム」

(2020年/103分/中国/

原題：一秒鐘 One Second / 監督：チャン・イーモウ)

日時：10月1日(土) ①11:00 ②14:00

料金：一般 1,400円(前売り1,200円)

シニア 1,100円/障害のある方 600円/中高生 800円

主催：福岡映画サークル協議会 TEL:092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

INFORMATION

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念イベント 日韓映写技師ミーティングin福岡

10月28(土)14:00～16:40 **参加無料**

14:00～14:23 映画上映『ゴビを渡るフィルム』

14:25～14:40 ミニ・レクチャー

「フィルムで観る映画について」

松本圭二(福岡市総合図書館)

14:40～16:40 シンポジウム

「日韓映写技師ミーティング

～映写技師という仕事」

韓国・日本、それぞれのフィルム上映の現状についてのプレゼンテーションを行い、映写技師という仕事を通して、映画の魅力、映画上映の醍醐味について語り合います。また、日韓の映写技師の交流、今後の連携の可能性についても話し合います。

<登壇者>

キム・ソンウク SeongUk Kim

(プログラムディレクター/シネマテーク・ソウルアートシネマ)*プレゼンテーション

神田麻美 (映写技師/Fシネマプロジェクト)*プレゼンテーション

石井義人 (映写技師/映写技師会議in福岡・準備会) ほか

主催/映写技師会議in福岡・準備会、一般社団法人コミュニティシネマセンター、福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会

協力/ FIAP(国際フィルム・アーカイヴ連盟)、映画保存協会

助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業・次代の文化を創造する新進芸術家育成事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la

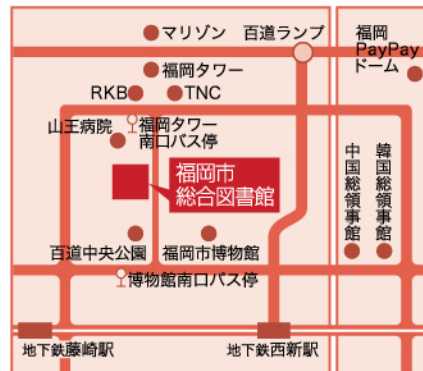
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

助成：公益財団法人

福岡文化財団

発行：映像ホール・シネラ実行委員会

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。